

PET-CT (FDG) 検査を受けられる方へ

PET-CT (FDG) 検査とは

がん細胞は、正常細胞よりも糖分をたくさん必要とします。この性質を利用して、ブドウ糖に似た薬剤（フルオロデオキシグルコース [18F] FDG）を注射して、病変を発見する検査です。

検査の安全性と危険性について

この薬剤による副作用の心配はありません。PET-CT (FDG) 検査1回の被ばく量は全身CTと同程度で、この線量で放射線障害が起こることはありません。

PET-CT (FDG) 検査を受けるにあたり次の点にご理解ください

1. この検査は、糖代謝の低いがんは診断できません。よって、がんの種類によっては見つかりにくいものがあります。また5 mm以下の小さながんは発見できないことがあります。
2. FDGは糖代謝の盛んな脳や心臓に強く集積します。また、腎臓を経て尿に排泄されます。したがって、腎臓や尿路、膀胱周囲の臓器の診断は難しくなります。
3. 重度の糖尿病、人工透析を受けている方、交通事情により薬剤が届かない場合は検査ができなくなることがありますのでご了承ください。

検査前・検査時の注意事項について

1. お食事は、検査の5時間前より何も食べないでください（あめ・ガムも含みます）。
2. お飲物は、糖分を含まないお水・白湯・お茶以外は飲まないでください。
（時間による制限はありません）
注射後、余分な薬を排泄するため500mlのお水を飲んでいただきます。
※お水は病院で用意いたします。
3. 検査前日と当日の激しい運動（ジョギングやスポーツ等）は控えてください。
4. 薬を注射してから検査までの間はできるだけ**安静**にしてください。
（読書やおしゃべり、ガムを噛む等は控えてください。）
5. 検査の**5時間前**から糖尿病の薬やインスリンの注射をしないでください。
治療中の方は、薬を持参してください。ただし、糖尿病以外の薬は服用してください。
6. 下剤、緩下剤は**検査前日**から使用しないでください。
7. 歯の治療・鍼灸治療・マッサージ・予防接種等は控えてください。
8. 妊娠中または授乳中の方、糖尿病の方、ペースメーカー使用の方は医師にご相談ください。
9. 脱ぎやすい服装で、金具等のない下着を着用してください。ボタン・金属類（眼鏡・ベルト・腕時計・入れ歯・補聴器・アクセサリ等）は外してください。
10. 検査終了後の数時間は、乳幼児、妊産婦との接触をできるだけ控えてください。
11. バリウム検査は**14日前**より控えてください。

高額な薬剤を使用する検査です

3割負担の患者さんで、約3万円前後のお支払額となります。
高額な検査であることをご了承ください。

ご家族の方へ介助の協力について

自力での歩行・トイレ等を行えない場合には、ご家族の方に介助の協力をお願いします。

PET-CT (FDG) 検査の流れ

来院前 5 時間以上の絶食（水分はお水・白湯・お茶をお飲みください）

- ・糖分を含む飲料・あめ・ガムなども禁止です。
- ・検査前日に激しい運動やトレーニングを行うと筋肉が強く描出されて正確な診断ができない可能性がありますのでご注意ください。



来院時間にお越し下さい

- ・保存の効かない薬を使用します、必ず予約時間 30 分前に来院してください。
- ・外来棟受付窓口に来てください。受付職員が2階の核医学エリアへご案内します。
- ・血糖値・身長・体重の測定があります。



注射をします

- ・FDG PET 薬剤を静脈注射し投与します。



注射後に約 1 時間の安静

- ・FDG PET 薬剤が全身に行き渡るまで約 1 時間安静にさせていただきます。
- ・余分な薬の排泄を促進するため水 500mL を飲んでいただきます。
※お水は病院で用意いたします。
- ・検査直前にトイレで排尿してください。



検査開始

- ・撮影時間は 20 分～30 分程度です
- ・上向きで寝ているだけです。



検査終了後に 30 分程度の安静

- ・追加で 2 回目の撮影を行う可能性があります。



終了

- ・体内から微量の放射線が出ています、水分を取り排尿を心がけてください。
- ・周囲の人への影響は問題ありませんが、数時間は乳児や妊婦との接触はなるべく控えてください。